

西宮わたなべ内科・心臓リハビリクリニック OPEN！

このたび、上甲子園の「西宮渡辺心臓リハビリクリニック」が西宮渡辺病院近隣の柳本町に移転、ならびに施設名も

「西宮わたなべ内科・心臓リハビリクリニック」として一新し、7月3日より開院しました。

当クリニックは、これまでより更に循環器専門医による外来機能を強化させており、西宮渡辺心臓脳・血管センターなどとの密な連携も取れています。

また、心臓リハビリテーションは、これまでと同様に、循環器専門医、日本心臓リハビリテーション学会認定の理学療法士・看護師が在籍の元、個々の病状にあわせて行っていきます。

開院まもなくささやかな当クリニックですが、心疾患を有する多くの市民の皆様へ外来診療を通じ、また心臓リハビリテーションの提供により、地域医療の貢献に努めて参ります。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00 土曜日 13:00まで	●	●	●	●	●	●
14:00～17:00	●	●	●		●	
17:00～19:00	●				●	

休診日 木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

新名称 **西宮わたなべ内科・心臓リハビリクリニック**

新住所 **西宮市柳本町 8-36** ☎ **0798-81-5310**



西宮・芦屋 循環器診療地域連携フォーラムを開催しました

6月1日に「西宮・芦屋 循環器診療地域連携フォーラム」を開催させていただきました。

本来、2020年に開院15周年記念として開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で3年延期になりましたが、このたび開催させていただくことができました。

今回、特別講演Ⅰとして 和歌山県立医科大学 名誉教授の**赤阪 隆史** 先生より

「虚血性心疾患診療の現状と将来」のテーマで御講演頂き、また、

特別講演Ⅱとして、前 東京大学大学院医学系研究科 循環器内科教授の

小室 一成 先生をお招きして「循環器病学の現在と未来」のテーマ

で御講演頂きました。

52名に参加をいただき、盛況に本フォーラムを開催することができました。



赤阪 隆史 先生



小室 一成 先生

わんぱく相撲兵庫ブロック大会に医療スタッフを派遣しました！

兵庫県西宮市で開催された『わんぱく相撲兵庫ブロック大会』に、当法人から医師を含む医療スタッフを派遣しました。

この大会は、相撲を通じて子供たちの「礼儀礼節」の精神を養うことを目的とした大会であり、小学生力士たちが7月3日に東京・両国国技館で開催される全国大会への出場権をかけて熱い戦いを繰り広げました。当法人のスタッフは、この大会において安全な競技環境の確保と子供たちの健康管理に協力いたしました。

社会医療法人 渡邊高記念会は、子供たちの未来を応援し、地域の健康づくりに貢献するため、

引き続き地域のスポーツイベントへの協力を行ってまいります。

今後の当院の活動にご期待ください！



安心してスポーツが出来るようにサポートしました！



法人関連施設

●社会医療法人 渡邊高記念会 / 西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院

西宮わたなべ内科・心臓リハビリクリニック / 西宮渡辺心臓脳・血管センター 東灘クリニック / 介護老人保健施設ハートケア西宮わたなべ / グループホームてまりの家

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所わたなべ / グループホーム西宮わたなべ / サービス付高齢者向け住宅ひだまり

すくすく保育 わたなべ / 訪問看護ステーション西宮わたなべ / 西宮渡辺心臓脳・血管センター附属訪問看護ステーション / 健康塾

通所リハビリテーション / 居宅介護支援センター西宮わたなべ / 西宮渡辺ヘルパーステーション / 西宮市中央在宅療養相談支援センター

●社会福祉法人 高明会 / 特別養護老人ホーム シルバートピア西宮 / 居宅介護支援センターはまかぜ

わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

当院各階詰所・1F受付に設置しております 「ご意見箱」 をご利用ください。

【発行元】社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部 【TEL】 0798-74-2630 【FAX】 0798-74-0199

【URL】 <http://www.n-watanabe-hosp.jp/>



西宮渡辺心臓脳・血管センター 開院記念

「理事長 ご挨拶」 社会医療法人 渡邊高記念会 / 理事長 **佐々木 恭子**



6月1日は、法人創設者 故 渡邊高の誕生日であると共に

「西宮渡辺心臓脳・血管センター」

「西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院」

「42条疾病予防運動施設 健康塾」

「老人保健施設 ハートケア」

私共法人が運営する二つの病院と二つの施設の開院記念日です。



創設者の最後の夢を背負い開設された心臓脳・血管センターと健康塾、ハートケアの設立は阪神淡路大震災から10年を経た2006年

です。今年度で17周年、リハビリテーション病院の設立は、2018年です。こちらは5周年を迎える事となります。

センターは、高度急性期のそしてリハビリテーション病院は回復期の脳、心臓そして血管疾患を専門とする病院で、二つの病院を合わせれば救命に関わる高度急性期からリハビリテーションそして予防に至るほぼ全ての脳、心臓、血管に関わる疾患に対応可能となります。

皆さんは IMPELLA (補助循環用ポンプカテーテル) をご存知でしょうか？ マラソン中やジムで運動中に突然に心肺停止などという怖い出来事、これに対応する強い味方が左心室留置循環補助ポンプ内蔵カテーテルで2017年に保険適応となっています。

まさに生命を救う神技、ただ西宮、芦屋地域でこのポンプカテーテルが使える施設は私共の「心臓脳・血管センター」のみです。その時代にあって最新最良の医療を目指す私共の努力は微力ながらも地域医療の向上に繋がっている事と確信しています。

「健康寿命の延伸を図るための脳卒中心臓病その他の循環器に係る対策に関する基本法」をご存知ですか？

高齢化社会に於いて国民の健康長寿を願って作られた法案は、私共のリハビリテーション病院が開院した半年後に成立しています。

死亡原因の2位と3位を占める脳血管疾患と心疾患は要介護や認知症の原因ともなる健康寿命を縮める疾患である一方、これらの疾患

は適切な食事や運動、生活習慣の改善によって予防可能な疾患でもあります。

適切且つ継続的な循環器リハビリテーションは皆さんの健康長寿の源にもなりますが、心臓リハビリができる施設は少ないのが現状です。

前浜町にある脳卒中心臓リハビリテーション病院は、非常に小さな病院ですが、脳血管のリハビリと共に心臓リハビリのできる全国的にも珍しい貴重な病院です。

創設者の想いを紡ぎ、開設から17周年となる心臓脳・血管センター、5年が経過したりリハビリ病院、そしてハートケア(老健)と健康塾(42条疾病予防運動施設)、法人の全ての施設と病院がこれからも創設の原点を忘れず、地域医療に貢献する歩みが続けられる事を願っています。

皆様のご支援とご協力を心よりお願い致します。

「管理者 ご挨拶」 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 管理者 **増山 理**



西宮渡辺心臓脳・血管センターの創立17周年、おめでとうございます。

永年当センターで働いて来られた職員の皆さまに心よりお慶びを申し上げます。

17年間たゆまず成長してこられたのは、『敬天愛人』～命を敬い人を愛する医療の実践～という病院の理念が地域の皆さまに受け入れられてきたからだろうと思います。

私が西宮渡辺心臓脳・血管センターに参りまして1年になります。当センターには放射線装置、超音波装置などを含め、最新鋭の機器が整備されています。装置が素晴らしければいい医療を提供できるかという、必ずしもそうとは言えません。それを使う人が十分な技術をもって使いこなすことが必要です。そしてさらには、スタッフひとりひとりが、「患者さんの力になる」という心を持つことも重要

です。最近、循環器診療の分野においてチーム医療の重要性が叫ばれています。ひとりひとりの患者さんを多職種のスタッフが連携して治療なり予防なりを行う。個々の力量の向上も必要ですが、全体のチーム力のアップも重要です。

今後も当センターのソフト面のいいところをさらに伸ばし、また悪いところは改善していきたいと思っております。

地域の皆さまにおかれましては、今後とも暖かいご支援をお願い申し上げます。

西宮渡辺心臓脳・血管センター 「開院記念ご挨拶」

西宮渡辺心臓脳・血管センター / 副管理者 渡邊 慶明



2023年6月1日は、西宮渡辺心臓脳・血管センターおよびハートケア西宮、西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院の開院日であり、創設者である祖父の誕生日でもあります。今年の6月1日で、西宮渡辺心臓脳・血管センター、ハートケア西宮は創立17周年、西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院は創立5周年を迎えます。

当院は、私の祖父が地域の役に立ちたいという思いから設立されました。その想いは今も私たちの心の中に生きています。その祖父がこの病院の理念として選んだのが「敬天愛人」という言葉です。この敬天愛人という言葉は、もともと西郷隆盛の言葉で“天を敬い人を愛する”と評されます。我々はこの3年間はまさにコロナという天災に見舞われ、人の力ではどうすることもできない存在を実感させられることとなりました。そんな中、我々の法人が立ち向かってこられたのは、「人を愛する」という精神が我々の中に息づいていたからだと思います。17年の節目を迎えるにあたり、改めてこの「敬天愛人」の精神に心を寄せ、よりよい医療を提供できるよう微力を尽くしてきたいと思います。

西宮渡辺心臓脳・血管センター / 院長 吉田 和則



平成20年1月に心臓血管外科責任者として赴任し、以降、沢山の方々のお力添えもあり、阪神南地区の中核医療機関になるまでに成長致しました。これまでの道のりは、決して平坦なものではなく、院内外問わず、ご指導頂きました方々に感謝申し上げます。

当地域で暮らす人々の安心安全を守るために、高度な医療を提供し続け、当センターの理念であります「敬天愛人」の精神を忘れず、社会貢献を継続する責務がございます。

医療を取り巻く情勢やニーズの変化を見せておりますが、循環器疾患は、退院が終わりではなくスタートであるとの観点から、急性期だけでなく慢性期・維持期においても質の高い診療を多職種で、途切れる事のないシームレスな連携が行える様に努めたいと思います。

これからも皆様のご指導ご協力の程、何卒よろしく願い申し上げます。

西宮渡辺心臓脳・血管センター / 副院長 藤田 博



循環器内科として、2022年はPCI: 539例、TAVI: 34例の実績となりました。近畿地方で20番目の症例数となります。兵庫県では6番目です。当センターは設備や施設が充実しており、最高レベルの医療の提供が可能な病院である証です。

今年は、さらにますます患者さんに信頼され、選んでもらえる施設となれるよう、コメディカルの皆様と協力して精進したいと思います。

ところで、わが阪神タイガースは今のところ絶好調で、18年ぶりのリーグ優勝、38年ぶりの日本一も射程圏内です。その勢いにあやかり、当センター循環器内科のスローガンもAREを掲げたいと思います。目標(Aim)は、質量ともに阪神地区一の心臓脳・血管センターになること。敬う気持ち(Respect)は、良い医療環境を整えてくれる法人に。パワーアップ(Empower)は、個々人もっともっと勉強して、技術的にもスキルアップしましょう。

それでは、これからもよろしく御願い申し上げます。

西宮渡辺心臓脳・血管センター / 副院長 大森 一美



当センターは設立17周年を迎え、また脳卒中センターは開設8年が経過し、今日では阪神地域の心臓・脳疾患救急医療を24時間支えている「無くてはならない病院」であると自負しております。さらに増山先生、藤田先生、合田先生をはじめとする循環器内科 Dr の増員により、一層パワーアップしております。

一方、当センターでは地域医療に力を注ぐのみならず、遠方からも多くの患者さまに受診いただいております。当センターでほとんどの治療が完結できる、いわゆる「高度先進医療」の役割も担っております。

今後もこの地域において「無くてはならない」施設であり続けながら、最先端の医療を提供できるよう努めてまいります。皆様のご指導ご協力の程、よろしく御願い申し上げます。

西宮渡辺心臓脳・血管センター / 副院長

中尾 佳永



今年で開院17周年を向かえ、ここ数年で大きく変貌を遂げている社会医療法人渡邊高記念会 西宮渡辺心臓脳・血管センター。

その副院長に就任し、1年が経過しました。当センターの為にどのようなことができるかを考え、勤務してきましたが、自身としては空回りしている部分が多く、職員の皆様に迷惑をかけているばかりです。

今年も引き続き、当院で治療を受けて頂く患者様に、より安心して医療を提供できる様、多職種と協力し高め合える職場づくりを達成出来ればと考えております。また、多方面に当センターについて発信を出来る様に、がんばりたいと思います。これからもご指導・ご協力の程、何卒よろしく御申し上げます。

西宮渡辺心臓脳・血管センター / 副院長

合田 亜希子



西宮渡辺心臓脳・血管センターに赴任して2年目になります。これまでのセンターの軌跡を伺うと、変化する社会に対応し患者さんの目線で1年1年課題を克服してこれまでの発展を遂げてきておられます。センターは6月1日で17周年を迎えますが、これからのさらなる発展に微力ながらも貢献できればと考えています。

地域の患者さん、住人のみなさんの健康、生き方を診療面からサポートできるよう様々な職種のスタッフとチームワークをもって取り組んでまいります。今年度もよろしく御願いいたします。

西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 「開院記念ご挨拶」

西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 / 院長 槌田 昌平



当院は、心臓・脳血管疾患に特化したリハビリテーション病院として2018年に開院しました。おかげさまで、6月1日に5周年を迎えることができました。

病院は西宮市内南西よりに位置し、臨港線沿いにある4階建て複合施設「ハートケア西宮わたなべ福祉の郷」の中にあります。脳卒中を中心とした回復期リハビリテーション病棟の他に、外来部門として心臓リハビリテーションを運営しており、西宮渡辺心臓脳・血管センターと連携して心臓の急性期治療・手術後や慢性心不全に対するリハビリテーションも行っております。

外来部門としては、2021年1月に形成外科・美容医療センターを、2023年年1月から婦人科・女性医療センターを開設しており、女性の皆様の健康をサポートする取り組みも始めています。

2020年からのコロナ禍においては、早くから入院受け入れに対応したり、発熱外来などを開設し、地域の皆様のお役に立てるような医療活動も行っていました。

これからも職員一同協力して前を向いて邁進してまいりますので、どうぞ皆様のご支援・ご協力をよろしく御申し上げます。



疾病予防運動施設 健康塾 「開設記念ご挨拶」

健康塾 / 部長 石田 仁



開設当初、西宮渡辺心臓脳・血管センター本館 1F にてスタートし、外来機能拡充に伴いセンター本館 5F へ移設、その後、健康館完成とともに健康館 4F へと移設を繰り返し、営業展開しております。

センターとともに成長し、地域の医療機関に求められる役割を考え、治療医学から予防医学へ、一次予防により地域住民の健康づくりを担い、信頼される施設を目指してまいりました。また通いの場の提供や仲間づくり等サロンの役割をはじめ、維持期リハビリを中心に様々な疾患を抱えながらも、安心安全にかつ効果的な運動指導を行っております。

従来フィットネスクラブとは一線を画し、医学的なデータをもとに、医療の専門スタッフによる評価・指導を行い、ご自身の健康状態を把握した無理のない運動メニューを進めていきます。地域に愛され、信頼される施設づくりにスタッフ一同より一層の精進をしております。

今後ともよろしく御願いいたします。

